

部落解放第60回全国女性集会 フィールドワークに参加して

那賀支部
宮本 睦

全国女性集会には、もうずいぶん参加しているけれど、初めてのフィールドワークで少しドキドキしながら、みなさんと一緒にまわりました。

福山駅の集合場所から

バスに乗り、最初は「ホロコースト記念館」に入りました。ホロコーストとは『すべてを焼きつくす』という意味のギリシャ語で、現在では、ヒトラーを中心としたナチス・ドイツ(1933年~1945年)によるユダヤ人大量虐殺を表すことばとして使われています。この記念館の館長の大家信さんは、1971年イスラエルへ訪問中、偶然「ア

ンネの日記」の作者の父、オットー・フランクさんとの出会い、親交を深め「ホロコースト」について知り、平和について考えるために1995年に日本で初めてつくられました。

ナチスは、ユダヤ人に黄色い星をつけ「おまえたちは人間でない」と教え込むため、名前を奪い、腕に番号を刻まれ、人間性を否定されました。ホロコーストから生き残った人びとはホロコーストのことを世界に伝え、平和の大切さを訴えていく必要があると思いを受け継いでほしいと思えました。

すとも。責任は名もない一般の人びともあるのです。そうでなかったら、世界の人びとはとうに立ち上がって革命をおこしていたでしょうから」が心に強く残りました。今の世の中でも同じことがいえると思います。市民の一人ひとり戦争はいけないことだと声にだしていくことが大切だと

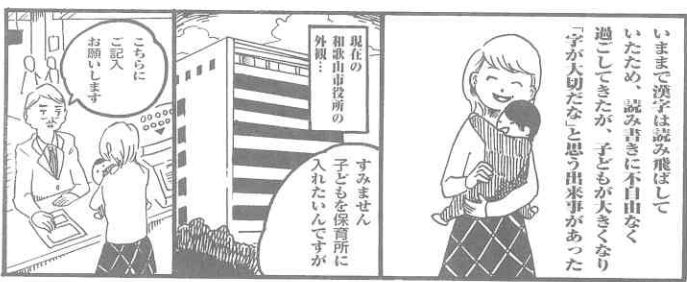
なぜ、ユダヤ人が差別され、嫌われたのでしょうか。ユダヤ人の宗教や言葉、習慣などの違いが理解されず、人びとに長くあったユダヤ人にたいする偏見を巧みに利用し、1935年に「ニユルンベルク法」という人種差別の法律を作り、ユダヤ人は市民としての権利をすべて奪われ、劣った民族とみなされ、大虐殺に至りました。

私はアンネの日記の1944年5月3日に記された「戦争の責任は偉い人や政治家、資本家にだけあるのではない。そうで



対朝楼を見学

いま「指悩皆喜」 真っ最中⑤



保育所の入所手続きで用紙に記入することになったマーちゃん。漢字が読めない、書けないのに入所理由を文章にしなればならず、困ってしまう。

原作/竹本雅世 作画/青葉焰樹

第46回 高野山 夏期講座
2015年8月19日(水)~21日(金) 受講料 7,500円(税込)

高野山夏期講座では、「同対審を読む」と題し、シンポジウムをおこなうほか、人権課題の分科会を準備しています。また、来年4月には「障害者差別解消法」が施行されるにあたり、講師の話を文字に変換し、スクリーンやタブレットに投影する文字情報サービス(eーミニ)を導入します。多くの方の参加をお待ちしています。

第46回 高野山 夏期講座が ひらかれます

「同対審」答申がだされて50年が経過しました。環境が改善され、今日にいたるまでさまざまな人権課題を発見し、大きな役割を果たしました。

連載 (5)

「同和対策審議会答申」

したがって、いかなる時代がよようと、どのような社会が変化しようと、同和問題が解決することは永久にありえないと考えるのは妥当でない。また、「寝た子を起すな」式の考えで、同和問題はそのまま放置しておけば社会進出にともないいつとはなく解消すると主張することにも同意できない。

実に部落差別は、反封建的な身分差別であり、わが国の社会に潜在的または顕在的に厳存し、多種多様な形態で発現する。それを分類すれば、心理的差別と実態的差別とに分けることができる。心理的差別とは、人々の観念や意識のうちに潜在する差別であるが、それは言語や文字や行為を媒介として顕在化する。たとえば、言葉や文字で封建的身分の賤称をあらわして侮蔑する差別、非合理的偏見や嫌悪の感情によって交際を拒み、婚約を破棄するなど

の行動にあらわれる差別である。実態的差別とは、同和地区住民の生活実態に具現されている差別のことである。たとえば、就職・教育の機会均等が実質的に保障されず、政治に参与する権利が選挙などの機会に阻害され、一般行政諸施策がその対象から疎外されるなど、この差別であり、このようにな劣悪な生活環境、特殊で低位の職業構成、平均値の数倍にのぼる高率の生活保護率、きわだって低い教育文化水準など同和地区の特徴として指摘される諸現象であると見る見方である。

(次号につづく)